



平成28年3月期第1四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成28年3月期第1四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 澤田 秀雄
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	昭和33年(1958年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕7社 〔持分法適用関連会社〕5社
従業員数	〔グループ全体〕5,727名 (当社単体) 5名 (連結子会社) 4,935名 (持分法適用関連会社) 787名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	48,529,897,500円

平成27年6月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	大手旅行会社H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕7社 〔持分法適用関連会社〕5社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成27年6月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	▲ ソリッド銀行 (Solid Bank CJSC)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
損害保険	▲ エイチ・エス損害保険株式会社	49.63%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	37.81%
ベンチャーキャピタル	▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	37.59%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	22.54%
【再生ビジネス】		
不動産	● 株式会社アスコット	42.34%

※ 九州産業交通ホールディングス(株)は、当社が保有する同社株式の一部を売却したため（売却後の当社保有株式：議決権比率の5.00%）、同社は平成28年3月期第1四半期より当社の持分法適用関連会社から除外。

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得 ※1
▲ ソリッド銀行（Solid Bank CJSC）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
▲ エイチ・エス損害保険株式会社	平成17年 設立（平成19年 営業開始）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得 ※2
▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	平成18年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● 株式会社アスコット	平成21年 第三者割当増資により株式を取得

※1 当社子会社が当該株式を取得（当社は間接保有）。その後、当社が当該子会社を吸収合併したことに伴い、当該株式を直接保有。

※2 当社は、当該株式を保有する会社を子会社化。当該株式は、当該子会社を通じて間接保有。

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成27年3月期 第1四半期 (平成26年4月～6月累計)	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年4月～6月累計)	前年同期比
営業収益	9,401	13,234	140.8%
純営業収益	4,736	6,921	146.1%
営業利益	1,471	2,678	182.1%
経常利益	1,557	2,819	181.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	954	1,987	208.2%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成27年3月期 第1四半期 (平成26年6月末時点)	平成28年3月期 第1四半期 (平成27年6月末時点)	前年同期比
総資産	330,517	367,958	111.3%
純資産	44,733	56,428	126.1%
現預金	78,141	76,835	98.3%

主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、モンゴル国内の経済成長は減速傾向にあるものの引き続き好調に推移し、銀行関連事業は前年同期比で増収増益。

営業収益 100億92百万円（前年同期比20億51百万円増）
営業利益 20億 4百万円（前年同期比 6億20百万円増）

- 【証券関連事業】エイチ・エス証券(株)も、国内株式市場の活況等を受け、業績は引き続き好調に推移し、証券関連事業は前年同期比で増収増益。

営業収益 13億 6百万円（前年同期比 3億29百万円増）
営業利益 4億 3百万円（前年同期比 2億69百万円増）

- 【不動産関連事業】(株)アスコットにおける物件の売却が前年同期比で増加したことを受け、不動産関連事業は前年同期比で増収増益。

営業収益 14億56百万円（前年同期比13億44百万円増）
営業利益 1億96百万円（前年同期は営業損失35百万円）

- 【特別利益】投資有価証券売却益5億42百万円により、特別利益は前年同期比で増加。

特別利益 5億42百万円（前年同期比 3億83百万円増）

セグメント別業績

平成28年3月期第1四半期 (平成27年4月1日～平成27年6月30日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	10,092	1,306	368	1,456	310	13,234
営業費用	8,087	902	344	1,260	83	10,583
営業利益	2,004	403	24	196	226	2,678
経常利益	2,004	423	14	166	457	2,819

平成27年3月期第1四半期 (平成26年4月1日～平成26年6月30日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	8,040	976	272	112	348	9,401
営業費用	6,656	843	252	147	63	7,930
営業利益	1,383	133	19	△ 35	285	1,471
経常利益	1,394	153	11	△ 59	397	1,557

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

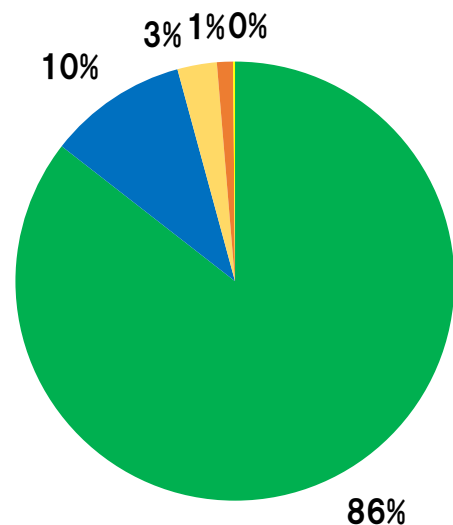
営業収益の構成

事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

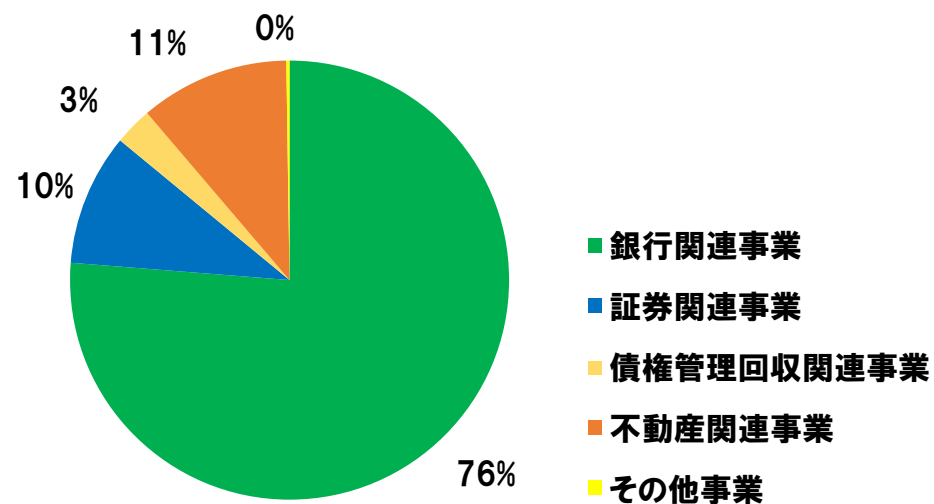
（単位：百万円）

セグメント	期間	平成27年3月期第1四半期 （平成26年4月～6月累計）	平成28年3月期第1四半期 （平成27年4月～6月累計）	前年同期比
銀行関連事業		8,040	10,092	125.5%
証券関連事業		964	1,284	133.2%
債権管理回収関連事業		272	368	135.5%
不動産関連事業		112	1,456	1,300.1%
その他事業		12	31	260.7%
合計		9,401	13,234	140.8%

平成27年3月期第1四半期
9,401百万円



平成28年3月期第1四半期
13,234百万円



ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万円)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	平成26年12月期	平成27年12月期	前年同期比
				第1四半期 (1月~3月累計)	第1四半期 (1月~3月累計)	
所在地	モンゴル国ウランバートル市	営業収益		8,040	10,092	125.5%
資本金	32,995百万MNT (MNT:トゥグルグ)	営業利益		1,383	2,033	147.0%
議決権の 所有割合	54.41%	経常利益		1,383	2,033	147.0%
主要事業	銀行業	当期純利益		1,199	1,883	157.0%
		総資産		268,308	293,545	109.4%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、ATMの増設にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、預金残高は前年同期比で微減したものの、融資残高、融資金利収入は順調に増加。
- モンゴルでは、大型鉱山開発の他、大規模なインフラ整備事業による経済成長は続いているものの、最大の輸出先である中国の経済成長の鈍化や石炭・銅価格の低迷等により、国内景気は減速傾向で推移。
- 2月、モンゴルにとって初となる経済連携協定(EPA)を日本と締結。また、新国際空港建設のため追加の円借款を決定するなど、日本・モンゴル両国間の経済関係は強化。
- ハーン銀行は、モンゴルの経済動向を注視し、鉱山や建設・不動産セクターに対して慎重に対応。今後も慎重な姿勢で経営に臨む。

	平成26年3月末	平成27年3月末	前年同期比
預金残高	172,493百万円	174,179百万円	101.0%
融資残高	152,936百万円	178,444百万円	116.7%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目	期間	平成27年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	平成28年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益		976	1,306	133.8%
資本金	3,000百万円	営業利益		133	403	302.1%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益		153	423	275.2%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	当期純利益		238	636	266.4%
		総資産		39,149	51,310	131.1%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 国内株式市場の売買代金が前年同期比で増加したことを受け、株式委託手数料は増収。また、投資信託の販売にも注力した結果、前年同期比で増収増益。
- 営業力の強化と新規資金導入に取り組み、預り資産も前年同期比で増加。
- 外部環境に左右されない安定的収益の確保、認知度の向上及び同業他社との差別化を目指す。
- 「スマ株」を中心としたインターネット取引ツールの利便性向上に注力。
- IPO(新規公開)1社の幹事に参入。

	平成26年6月末	平成27年6月末	前年同期比
預り資産残高	298,816百万円	377,192百万円	126.2%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス損害保険株式会社	科目	期間	平成27年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	平成28年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	経常収益		780	765	98.0%
資本金	1,612百万円	経常利益		12	△7	-
議決権の 所有割合	49.63%	当期純利益		7	△6	-
主要事業	損害保険業	総資産		3,387	3,480	102.7%

会社プロフィール

- ① 海外旅行保険を主力商品とする損害保険会社
- ② 平成17年に設立、平成19年に損害保険業の免許を取得して営業を開始して以降、専門の保険マーケットに特化して取組む

概況

- 円安による割高感、旅行先の治安・情勢不安やMERS(中東呼吸器症候群)の影響等により、海外旅行者数は減少。主力商品である一般の海外旅行保険は伸び悩む。
- インターネット契約の海外旅行保険「スマートネットとU」は好調に推移したものの、一般の海外旅行保険の減収分を補うには至らず、経常収益は前年同期比で減少。
- 6月に「スマートネットとU」の料金を改定。更なる販売強化に努める。
- 新商品である普通傷害保険・家族傷害保険の発売及び認知度向上に取り組む。

	平成26年6月末	平成27年6月末	前年同期比
契約件数(累計)	122,625件	123,917件	101.1%
収入保険料(累計)	904百万円	888百万円	98.3%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	科目	期間	平成27年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	平成28年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益		272	368	135.5%
資本金	500百万円	営業利益		19	24	123.6%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益		11	14	133.4%
主要事業	債権管理回収業	当期純利益		10	7	64.3%
		総資産		2,125	2,247	105.7%

会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 買取債権の回収が、担保付債権、無担保・無剰余債権ともに堅調に進捗したことにより、営業収益は前年同期比で増収。また、債権回収にかかる費用の圧縮等により、経常利益も増益。
- 債権者から債権の管理回収を受託する「受託型サービサー」から、金融機関等の債権者から債権を直接買取る「買取型サービサー」への事業転換は、順調に進行。
- 地方金融機関によるバルクセールは、落札価額の高止まりは続いているものの、債権数は徐々に増加傾向にある。今後も積極的に債権を取得するため、金融機関等からの資金調達の強化を図る。

	平成26年6月末	平成27年6月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収	143百万円	264百万円	184.4%
回収受託手数料(集金代行を含む)	111百万円	93百万円	83.4%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	期間	平成27年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	平成28年3月期 第1四半期 (4月～6月累計)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益		775	1,646	212.4%
資本金	778百万円	営業利益		17	592	3,376.2%
議決権の 所有割合	37.81%	経常利益		77	709	918.3%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	当期純利益		39	460	1,159.3%
		総資産		116,995	127,566	109.0%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)が拡大したことに加え、実施した各種施策の成果により新規顧客が増加した結果、前年同期比で大幅な増収増益を達成。
- 『マネ育』コンテンツをはじめ、顧客支援の取組みを実施。情報コンテンツによる他社との差別化を図る。
- 情報コンテンツによる差別化に加え、主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッドを提供。
- さらに、「トルコリラ/円」において、業界最高水準のスワップを提供。

	平成26年6月末	平成27年6月末	前年同期比
口座数	380,740口座	395,281口座	103.8%
預り資産残高	102,144百万円	111,328百万円	109.0%

《連結》

(単位:百万円)

商号 (上場市場)	株式会社アスコット (東京証券取引所JASDAQ上場 証券コード3264)	期間		前年同期比	
		科目	平成26年9月期 第3四半期 (10月～3月累計)		平成27年9月期 第2四半期 (10月～3月累計)
所在地	東京都新宿区	売上高	1,485	2,948	198.4%
資本金	1,434百万円	営業利益	12	292	2,364.1%
議決権の 所有割合	42.34%	経常利益	△ 52	200	-
主要事業	不動産業	当期純利益	△ 53	184	-
		総資産	4,599	5,654	122.9%

会社プロフィール

- ① 創業以来、東京都都心エリアにおいて分譲マンション開発を行う
- ② 得意とする企画開発力を活かし、戸建て・賃貸アパートの開発、中古物件のバリューアップに取り組む

概況

- 不動産ソリューション事業のバリューアップ物件3棟を売却。また、不動産開発事業における共同事業の分譲マンション『IORIS』全20戸の引渡完了。
- 翌期以降の収益に寄与する物件の仕入を積極的に展開。不動産開発事業における分譲マンション・戸建・テラスハウス・アパート開発用地や、不動産ソリューション事業のバリューアップ物件を取得し、資産は増加。
- 金融緩和を背景として取引は活発化。新規取引金融機関の増加もあり資金調達環境は改善。先行き不透明な不動産市況において、環境変化に柔軟に対応できる事業展開を目指す。
- 当期(平成27年9月期)に引渡予定の分譲マンション『アスコットパーク東京リバーサイド』は全18戸完売。
- 戸建て住宅とマンションの利点を併せ持つ、テラスハウス(複数の戸建住宅が連続している形式の低層集合住宅)開発を開始。

(単位:百万円)

商号	ソリッド銀行(Solid Bank CJSC)	科目	期間	平成26年12月期	平成27年12月期	前年同期比
				第1四半期 (1月~3月累計)	第1四半期 (1月~3月累計)	
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	経常収益		1,304	1,128	86.5%
資本金	1,569百万RUB (RUB:ルーブル)	経常利益		39	△ 360	-
議決権の 所有割合	40.00%	当期純利益		28	△ 321	-
主要事業	銀行業	総資産		30,095	22,828	75.9%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 経常収益(現地通貨ベース)は、非金利収益の大幅な増加等もあり前年同期比で増収。また、経済環境悪化の影響により法人の預金・融資残高は減少したものの、全体の預金・融資残高は前年同期比で増加。一方で、金融費用の増加や引当金の積み増し等の影響により当第1四半期は損失を計上。
- 欧米諸国との関係の緊迫化、原油価格及び現地通貨(ルーブル)の下落等によりロシアの経済環境は悪化し、実質GDP(1-3月)は平成21年以来のマイナス成長(前年同期比△1.9%)となる。
- ロシアの経済動向を引き続き注視しつつ、今後もリスク管理を徹底するとともに、収益構造の転換や適正人員の見直しによる組織の再構築など、効率的な事業の運営を図る。

	平成26年3月末	平成27年3月末	前年同期比
預金残高	23,181百万円	17,837百万円	76.9%
融資残高	23,339百万円	17,470百万円	74.9%

※ 現地通貨安(ルーブル安/円高)の影響により、円換算ベースの金額は前年同期比で減少。
 期末(3月)レート 前年同期比27.8%下落
 平均(1~3月)レート 前年同期比34.5%下落

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本決算説明資料におけるグループ会社紹介ページでは、平成27年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載。
ソリッド銀行 (Solid Bank CJSC)		
株式会社アスコット	9月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、連結決算日で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用。 ■ 本決算説明資料におけるグループ会社紹介ページでは、平成26年10月～平成27年6月の状況を記載(当社の連結財務諸表に反映させている期間とは異なる)。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名	現地通貨	為替レート
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	トゥグルグ (MNT)	平成27年3月末 : 1円 = 16.52MNT 平成27年1月～3月平均 : 1円 = 16.33MNT (平成26年3月末 : 1円 = 17.31MNT) (平成26年1月～3月平均 : 1円 = 16.77MNT)
ソリッド銀行 (Solid Bank CJSC)	ルーブル (RUB)	平成27年3月末 : 1RUB = 2.08円 平成27年1月～3月平均 : 1RUB = 1.95円 (平成26年3月末 : 1RUB = 2.88円) (平成26年1月～3月平均 : 1RUB = 2.97円)